

授業改善、学習環境整備をお手伝いします

専門学校様を対象とする教育支援業務のご提供

合格率は授業が作る！

「わかりやすく合格できる力を確実につける授業こそが学校の命脈です。」

授業アンケートは、改善すべき課題を見つけると同時に改善への努力の効果を測定するもの。改善成果の棚卸を定量的に行うことは、継続的な授業改善に欠かせない原動力です。

集計結果からは、優れた実践や効果的な取り組みの発掘ができます。これらを校内で共有していきましょう。

学生が最も長い時間を過ごす教室。そこでの満足度を上げることこそが学校の価値を高める最短ルートです。

⇒ 生徒による授業評価アンケート

学生の意欲を支える仕事

学校は、教室だけで作るものではありません。

教室に入る前、教室を出た後で、学生をどれだけ支えられるか。教務スタッフやクラス担任の力量に負うところが大きいです。夢を諦めそうなときに差し伸べる手で学校の力が問われます。

信頼できる相談相手がいるか、計画通りに学習が進んでいるか、学生一人ひとりが置かれた状況を把握してこそ必要なケアを提供できます。

じっと見て、耳を傾けるだけでは掴みきれない個々の学生が抱える課題も、質問紙調査を併用することでよりの確に、かつ、スタッフの力量に左右されずに把握できます。

⇒ 学びの環境アンケート

成長のストーリー

志願者や保護者が受験期の限られた時間のなかで情報を集めようとする、どうしてもネットや知人を通じて得た「評判」に頼りがちです。

こうした評判は必ずしも客観的なものでなく、学校の取り組みも正確に伝えてくれません。

データで裏打ちした「自校の学生が辿った成長の足跡、成功へのストーリー」で、そのような評判を“上書き”してしまいましょう。

「卒業生アンケート」の活用が好適です。データで明らかになる改善課題を解決し、その成果もまたデータで示すことで、学校からの発信により強い説得力を与えることができます。

⇒ 卒業生の声をつかった学校広報

先生方の力量アップ

学生を合格に導くのも、学生と良好な関係を結ぶのも、教室を任された先生方です。先生方の力量アップなしにはいかなる戦略も実を結びません。

研修を通じて「より良い授業へのヒント」を見つければ、先生方のモチベーションも大きく向上します。先生方に頑張ってもらう以上、学びの場を整えるのは学校の責任です。

講演＆ミニワークショップ、模擬授業などのロールプレイ。様々なメニューで、教室での指導、教材の編集、生徒の面談などについて改善への道筋をつけるお手伝いをいたします。

⇒ 教員研修(各種講演＆ワークショップ)

合格率は授業が作る！

生徒による授業評価アンケート

授業評価での質問には、改善につながるものとつながらないものがあります。過去の豊富なデータから抽出された、「より良い授業につながる質問設計」をご提案します。

御校が実現しようと取り組んでこられた授業像、教育活動について、じっくりとお話をお聞かせください。取り組みの方向と評価のモノサシが一致してこそ、正しい課題形成と効果測定が可能になります。

アンケートの結果は、きちんと分析して学校全体での改善行動につなげましょう。改善へのアクションプランを自力で描けない先生にこそ支援が必要です。教員研修も兼ねた結果分析報告会では、「改善の糸口が見つかった」「話に聞いた方法を試してみたい」という前向きなお声をたくさんお聞きします。

授業ごとにアンケートを取る単票タイプ	すべての授業を一度に、まるごとタイプ
授業ごとに、配布・回収を行います。その授業での出来事を振り返りながら回答できるのが最大のメリットです。ただし、1週間のすべての授業でアンケートが繰り返されるため、学生様が感じる負担は大きめなようです。	履修しているすべての授業を1枚の質問&回答用紙でいっぺんに回答してもらう負荷の少ない実施方法です。制作や運用のコストが小さいことが最大のメリット。登校時に配布、下校時に回収すれば、授業時間を使うこともありません。

- ※座学要素の強い講座と、実技要素が大切な講座とで、質問を併置することができます。
- ※自由意見記述のデジタルデータ化、テキストマイニングなどの解析も承ります。
- ※実施のイメージやご希望などをご教示ください。費用のお見積もりをいたします。

学生の意欲を支える仕事

学びの環境アンケート

授業の改善だけでは、合格までの長い道のりを通して学生を支えていくのは容易ではありません。教務スタッフ、クラス担任の皆様のお力が必要です。

しかしながら、授業を担当されていない場合、授業中の集中や予習・復習の様子などから学生の状態をうかがい知る情報が不足することも。面談を行ってもすべてが言葉にされるわけではありません。

以下のような質問で、学生一人ひとりの状況を把握したうえで、面談に臨むことが有意なコミュニケーション、合格まで学生を支える基盤を作ります。

- 試験対策は、合格に向けて計画した通りに進められている。
- 復習テストや質問相談を十分に活用して勉強を進めている。
- 資格取得に向けた意欲は高く維持できている。
- 入学時より、自分の将来を具体的にイメージできるようになった。
- 本校で学んだことを活かして社会に貢献したいと強く思う。
- 課程終了後の進路について知りたい情報は十分に入手できている。
- 本校では、教室や自習室は、学習に適した環境が保たれている。
- 本校スタッフは、学生の悩みなどにも親身になって応じている。

学生による評価が、コースや学年、クラスで大きく異なることも少なくありません。集計結果から改善すべき課題を特定し、分析を通じて有効な改善策を打ち出せれば、学校の力を継続的に高めていくことに繋がります。改善策立案のファシリテーションも承っております。

学生が辿った成長のストーリー

卒業生の声を使った学校広報

就職活動支援、職場体験、実習など、様々な機会では学生は大きな成長を遂げ、自分の将来を拓く力を身につけていきます。そうした体験を卒業生アンケートで声にしてもらうことで、「自校の学生が辿った成長の足跡、成功へのストーリー」を校内外に伝えることができます。

入学から卒業までの流れをお尋ねし、御校に最適な（＝成果を最もよく伝えられる）質問設計をご提案いたします。集計結果からは「各々の教育機会がどのような効果を得たか」も高い精度で推定できます。

集計結果をもとに、外に伝えるべき情報の編集・加工も承ります。「データは見せ方でいかようにも活かすことを知りました」とは、とあるお客様から頂戴したお褒めの言葉です。

ご提供業務の流れ ★は本体料金に含まれます。その他はオプションです。概算費用はお見積りをご請求ください。

ヒアリング&質問設計

実施セットの制作★

集計結果の納品★

分析報告書起草

報告会&改善協議

各種アンケートでは、授業評価アンケートのべ50万件をはじめ豊富な処理実績を持つ株式会社ディーシーアイと、代々木ゼミゼミナール教育総合研究所で、評価ツールの開発、データ分析、教員研修で培ってきたノウハウを持つ、教育実践研究オフィスFとが協働して、円滑な実施、効果的な調査・評価を実現いたします。

成績処理もお任せください！

各種資格試験等における学習において、受験生の学力上の弱点を正確に把握することは極めて重要です。独自開発の弱点分析プログラムを核に学力分析システムを開発し、同時に成績処理を行っています。

先生方の授業力・指導力の向上と、目指す授業像の共有に

教員研修(各種講演&ワークショップ)

様々な内容・形式をで、教職員向けの授業スキル向上プログラムをご用意しています。10年以上にわたり年間5,000名以上の、高校・中学、大学、専門学校の先生方に研修で培ってきたものをご利用下さい。

講演&ミニワークショップ： 教え方のいろはから現場即応の技術まで、理論と実践の両面で学んでいただく講座です。座学での講演からワークショップまでニーズに合わせた研修をご提供いたします。

Micro Teaching（模擬授業）： 黒板の前での立ち位置、きちんと伝わる話し方などの基本から、効果的な導入、気づきを促す発問など、より実践的なトレーニングを提供します。若手育成を担当される先生方にとっても有意な内容です。

目指す授業像が先生方のあいだで共有されることが、教え方についてのカジュアルな会話を増やします。そこから得られた刺激や知恵が、学校全体で継続的な授業改善に向かう原動力になります。

研修を通じて得た「なんだ、こうやればいいのか」という気づきで、現場の先生方がより良い授業への意欲をさらに高めていただく姿を見ると、この仕事を始めてよかったとつくづく思います。

研修費用の例： 90分 115,000円(口述料、企画調整費、教材制作費を含みます) + 出張料[都内 5,000円]

●入学試験、塾・予備校の全国公開模試、学校内模擬試験、学力テストなど

成績処理 各種試験の企画・開発・運用～答案処理・集計

- ▶ 社内でのセキュリティ管理体制は最高レベルを適用し、事故の防止に万全の体制で臨んでいます。
- ▶ 試験後の学習の優先順位を明確する弱点分析プログラム・学力分析システムが最大の特徴です。
- ▶ マークシート式、記述式の双方に完全対応いたします。



成績処理のワンストップサービスを提供 + トータルサポート!!

試験・テスト等の成績処理に関し、企画立案、個人成績表のデザイン、ソフトウェア開発、運用（マークシート等の解答用紙デザイン・制作、解答データの読取・データ化、成績処理、個人成績表・統計諸表の出力・印刷・発送）までをトータルにサポートしています。

過去の実績により蓄積されたノウハウと新しい手法への挑戦で、常に「成績表デザイン」をリードしています。



●「正答率曲線」と「正答・誤答指数」による

学力分析システム DCI社オリジナル開発

学力分析システムで可能になったことは・・・

- ▶ 受験生個人別に試験の全問題の正誤結果につき正答・誤答の重大さの度合いが数値で判断できる。
- ▶ 学力上の弱点を明らかにし、学力向上のために何を学習すべきか優先順位をつけて示すことができる。



正確に弱点を発見し、その弱点に対するピンポイント攻略!!

お問い合わせ先：(株)ディーシーアイ ☎03(5295)1071 ※HPのメールフォームもご利用ください。